



優しさに触れる旅

中部空港からバンコクへ、そこで国内線に乗り継いで、予定より20分遅れでチェンマイに着いた。荷物を受け取り、出口に向かって急いだ。ところが、出迎えの人の中に、迎えに来てくれているはずの妹の顔がない。携帯もスマホも持たない私は、公衆電話から電話をしたが通じない。困って、案内カウンターの小柄な女性に説明したら、呼び出しをしてくれた。それでも現れない。妹の電話番号を見せるとかけてくれたが、応答はないと言う。時間を置いて、2度3度とかけたけれど、ダメだった。

こんなことなら住所を聞いておけばよかったとか、今夜は空港で一晩明かすのか...と不安に思っていた時、先ほどの案内カウンターの女性がスマホを持って走って来た。電話の向こうで、妹の音がしている。一向に動く気配のない私を心配して、見ていてくれたようだ。その気持ちがうれしくて、涙が出た。

妹は時間前から国内線の出口で待っていてくれたそうだ。しかし、出てこない。航空会社に乗客名簿を調べてもらったら、乗っていないと言われ、乗り遅れたのだと思い、引き返したそうだ。部屋に着いたら電話が鳴って、再び迎えに来てくれたとのこと。スマホは充電のために部屋に置いて出かけていたので、応答がなかったわけだ。そもそもこのトラブルは、私は国際線の出口で待っていて、妹は国内線からと国内線の出口にいたという行き違いから起こった。受付カウンターの女性に「ありがとう」と言って、急いで空港を離れたが、にこにこした顔で見送ってくれた。彼女には感謝でいっぱいだ。

そして、妹が滞在するゲストハウスに着くと、空港まで妹と一緒に迎えに来てくれたゲストハウスの奥さんが「おなかがいいたでしょう」と、焼きそばに似たタイ料理を作ってくれた。なにも食べていなかったので、特別においしかった。

到着した翌日は、朝5時から散歩に出かけた。11月下旬の朝5時は真っ暗である。6時になると薄明るくなり、道路の温度計は20度を示している。安くておいしい屋台が多いタイでは、できあがったものを買って食べる習慣があり、大きな市場では朝4時くらいから人が動いている。いろいろと珍しいものを買ったり、食べたりしたが、私にとっては、おいしい果物が安く手に入ることが、いちばんうれしかった。

早朝の市場の近くで、オレンジ色の僧衣を着て素足で托鉢に回っている人々を見かけた。僧侶は自分の所有物を持たない修行の身とされ、生活に必要な最低限のものを人々からの施しに頼って生活する。そのため、僧侶は基本的に毎朝、托鉢に回るそうだ。市場には、お布施用に果物、米、餅、花などがセットになって20バーツ(日本円で70円程度)で売られている。托鉢に回る人の中には小さな子どももいる。聞けば、貧しい家の子どもが寺に預けられることがあるそうだ。ある朝、5歳か6歳の幼い男の子が近づいてきた。急いで市場で、そのセットを買い、手に抱えている鉢の中へ20バーツ札を入れた。これにはルールがある。靴を脱いで、道にひざまずき、手を合わせる。そうすると、私たちに向かってお経をあげてくれるのだ。お経が終わると、静かに立ち去った。それとなく、その子を目で追うと、何人かからのお布施のビニール袋を重そうに持って歩いていたが、背の高い若者が近寄って、それを持ってあげていた。タイの人は信仰心が厚く、心優しい。そう感じられる旅だった。

執筆者：藤谷マルミ

旅行が大好き！国内も海外もいろいろ出かけるとは、出会いと発見を楽しんでいます。

托鉢にまわる少年僧たち



企業の社会貢献活動の現場から



隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第35回となる今回は、リゾートトラスト株式会社です。

「多様な人材の活用」を目指して

リゾートトラスト株式会社 広報部

リゾートトラストは、障がい者雇用、女性の活躍推進に力を入れており、社員がいきいきと働くことができる環境づくりを行っています。

障がい者雇用(厚生労働大臣賞受賞)

当社には障がいのある社員と健常者が共に働く「事務支援センター」が東京、名古屋、大阪にあります。東京事務支援センターでは、社内部署から依頼される80種類以上の業務を行っています。

障がい者の雇用に積極的に取り組んだことで、定着が難しいとされる精神障がい者の平均勤続年数が5年を超える職場環境を実現することができました。その結果、平成25年度「厚生労働大臣賞」を受賞することができました。これまでの取り組みが評価され、天皇后両陛下の行幸啓を賜りました。

また、経済産業省から障がい者雇用における取り組みが優秀と評価され、「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました。



天皇后両陛下のご視察

平成27年度「名古屋市女性の活躍推進企業」として優秀賞を受賞

名古屋市からは、女性が活躍できる風土の醸成に多方面から取り組んでいることが評価されました。具体的には、産休や育休取得後に職場復帰する社員だけでなく、これから同職場で育休を予定する社員も参加する両立支援ワークショップや、管理職研修の充実が挙げられました。



河村市長による表彰

リゾートトラスト株式会社 広報部
〒460-0008 名古屋市中区栄2-6-1 RT白川ビル4階
TEL:052-310-3324 FAX:052-310-3326

..... 次回は、株式会社メニコンをご紹介します。

新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

特定非営利活動法人 ル・スリール・ジャポン

法人設立
設立時期 2016年2月1日

代表者
石田 純哉

連絡先
名古屋市中村区那古野
1-44-17 嶋田ビル302号
TEL:050-5809-8120
(9:00 ~ 18:00)
E-mail:info@ojvs.or.jp

活動分野
国際・青少年

活動目的
地理・言語的要因から支援が届きにくい西アフリカのフランス語圏諸国で、地域の主体性を大切にしながら連携し、学びの場の環境向上、構築に取り組み、そこに関わる人々のル・スリール(笑顔)に寄与することを目的としています。

活動内容
(1)現地の小学校において、先生の授業能力を向上させるための活動
(2)不足している教室を現地の住民主体で建設していくための活動
(3)日本国内で国際理解を深めるためのイベント、講演の開催

団体PR
元・アフリカの青年海外協力隊員で設立したNPO法人です。現地により適した活動を行うため、現在、西アフリカのフランス語圏ブルキナファソで住民、現地行政との関係作り、現状の把握のための活動をしています。国内では、国際理解を促進するためのイベントを企画し、その準備を進めています。ボランティアスタッフだけで運営している段階ですが、組織作りへ参加していただける熱い方をお待ちしています。

活動を展開していくため、国内・国外活動の企画・運営、広報、資金調達など多岐にわたる活動と一緒に進めてくれるボランティアを随時募集中。0から積み上げていく段階です。担当者:石田